



よくわかる経営分析

末松義章

千葉商科大学大学院
客員教授 博士

故金児昭先生のご監修のもと、昨年三月に出版した拙著「びっくりするほど経営分析がよくわかる本」をベースに、決算書の見方と経営分析について、しばらくの間連載させていただきます。連載するに当たって、故金児昭先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

貸借対照表の見方

会社をめぐる利害関係にとって
短期・長期の支払能力を判断するもの

貸借対照表の構造

貸借対照表について、企業会計原則では「企業の財政状態を明らかにするため、貸借対照表日におけるすべての資産、負債及び資本(注)を記載し、株主、債権者その他の利害関係者にこれを正しく表示するものでなければならぬ」としている。

企業は、企業自身で利益を稼ぐことによって資金を自己調達するほか、出資者から出資金を受け入れたり、金融機関に借入れを申し入れたり、仕入れ先から商品を掛けて仕入れることなどによって、外部より資金を調達する。このようにして調達された資金は、資産や活動費用として、さまざまなかたちで運用されている。

貸借対照表は、この資金のすべてを調達の源泉別に表示、さらに投下資金の運用形態を資産の種類ごとに分類して記載し、企業の財政状態を示すものである(図1)。

ここでは、右側(貸方)にこの資金の調達の源泉が表示され、左側(借方)に投下資金の運用形態が表示されている。

貸借対照表には、会社の財政状態を、会社をめぐる利害関係者に明瞭にわかりやすく表示することが要求される。それによって、会社の財務の安全性の判断ができるようになる。具体的には、資産の分類を流動資産と固定資産とに分

け、短期・長期の支払能力の判断ができるようになっている。

(注)企業会計原則によると、平成一八年の会社法改正後も純資産ではなく、資本という表示となっており、資本は純資産の意味と解釈することができる。

流動資産・固定資産の分類

流動資産・固定資産は次の二つの基準により分類されている。

① 営業循環基準

この基準では、会社の主な営業活動のサイクルのなかで生じてくる資産を流動資産としている。たとえば、商品を買ってお金で支払い、それを販売して、現金で回収するという流れの場合、「現金↓棚卸資産↓売上債権↓現金」というサイクルのなかの資産を、流動資産としているのである。

この考えは負債にも適用され、主な営業活動のサイクルで生じる負債は、流動負債となる。

② ワン・イヤールール

営業循環の過程外の項目については、ワン・イヤールールというものがある。債券については、決算日の翌日から起算して一年以内に回収期限が到来するものを流動資産、一年を超えるものを固定資産とする基準である。

同様に、負債にも適用され、一年以内に期限が到来する負債は流動負債、一年を超えるものは固定負債として記載される。

現金・預金の見方

債務や経費の支払基準のほかに
借入金に対する担保の意味合いがある

使える現金・預金がいくらあるか

現金・預金は貸借対照表の流動資産のなかで、最初の項目としてあげられるものである。商品を購入してあげた場合、後日現金・預金で支払がなされる。したがって、取引先に現金・預金があれば、現金・預金が重要なポイントとなる。もし、現金・預金が不足していれば、期日に支払ができず、また、不渡手形を出すことにもなり、倒産につながる。

また、現金・預金には、債務や経費の支払準備という面のほかに、銀行借入金に対する担保と

して利用されるという面がある。

とりわけ、借入金の多い会社では定期預金、積立預金、通知預金などが金融機関に担保として拘束されている場合が多いものがある。したがって、どれだけ債務に充てることのできる現金があるのかを判断する際には、これらの拘束預金を差し引いて、「使える現金・預金」の金額をみる必要がある。

預貸率とは

現金・預金が、担保としてどの程度使われているかを示す比率として預貸率が使われる。預貸

率は次のように求められる。

預貸率(%) = $\frac{\text{現金・預金}}{\text{総借入金}} \times 100$

一般的には、預貸率が低ければ担保として金融機関に拘束されている現金・預金が少ないといえ、預貸率が高ければその逆ということになる。預貸率は、金融機関の貸付先に対する信用度で決まる。預貸率の変化例を図3に示す。

この例では、一年間で現金・預金、総借入金とも増えているが、預貸率でみると悪化しており、金融機関が警戒を始めていいることがわかる。

図1 ● 貸借対照表の構造

貸借対照表	
(借方)	(貸方)
○年○月○日	
流動資産	流動負債
	固定負債
固定資産	純資産
繰延資産	
資産合計	負債+純資産
(資金の運用形態)	(資金の調達源泉)
(資産=負債+純資産)	

図2 ● 現金・預金の意味

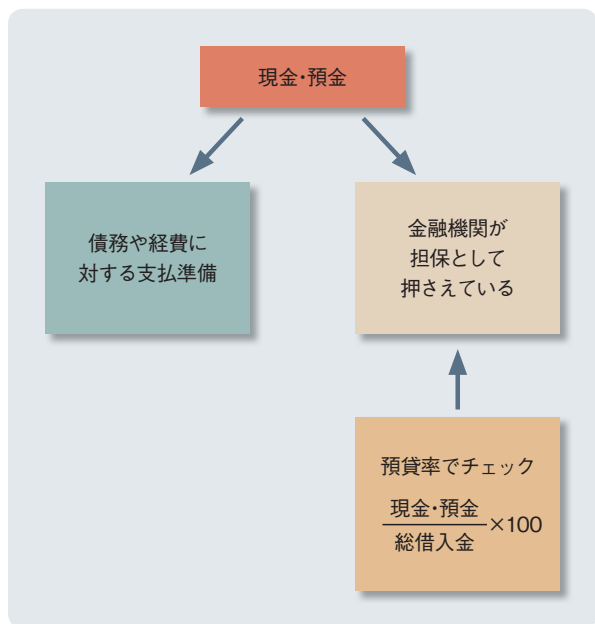


図3 ● 2009年10月に倒産した(株)M(スポーツ用品卸し)の現金・預金と借入金

固定負債	2008年3月期	2009年3月期
現金・預金	2億9,800万円	4億3,400万円
総借入金	23億5,600万円	29億5,700万円
預貸率	12.6%	14.7%